**一般地域の景観形成基準に対する措置状況説明書（建築物の建築等）**

**＜低層住居系市街地＞**

|  |
| --- |
| **＜当該行為における景観に関する考え方＞**記載欄 |

|  |  |
| --- | --- |
| **配置** | ○道路などの公共空間と連続したオープンスペースの確保など、公共空間との関係に配慮する。 |
| 記載欄 |
| 〇壁面の位置の連続性や適切な隣棟間隔の確保など、周辺の街並みに配慮する。 |
| 記載欄 |
| ○建築物外周のゆとり確保に配慮した敷地規模となるよう努力する。 |
| 記載欄 |
| ○敷地内に残すべき景観資源（遺構、樹木、池、湧水等）がある場合には、これを生かした計画とする。 |
| 記載欄 |
| **高さ・規模** | 〇周辺からの見え方に配慮する。 |
| 記載欄 |
| **形態・意匠・色彩** | ○建築物単体だけでなく、周辺の建築物や景観資源等（公園・緑地、並木、モニュメント等）との調和に配慮する。 |
| 記載欄 |
| ○色彩は、「色彩基準」に適合するとともに、周囲の建物から突出せず、周辺との調和に配慮する。 |
| 記載欄 |
| ○外壁は、周辺の景観との調和に配慮した素材を活用する。 |
| 記載欄 |
| ○坂道や緑道等となっている河川沿いなど、地形の変化がある場所では、その変化を建築物等のデザインに生かすよう工夫する。 |
| 記載欄 |
| ○附帯する建築設備等は、設置場所や目隠しなどの工夫により、周囲からの見え方に配慮する。 |
| 記載欄 |
| **公開****空地・****外構・****緑化等** | ○外構計画は、隣接する敷地や道路など周囲の街並みとの調和に配慮する。 |
| 記載欄 |
| ○垣・柵や外構など敷地外周部の工夫により、ゆとりある住宅地としての街並みに配慮する。 |
| 記載欄 |
| ○周辺のみどりとの連続性を考慮し、敷地や建築物を緑化する。 |
| 記載欄 |
| ○緑化の際、樹種の選定や樹木の配置等にあたっては継続的な維持管理が可能な計画とする。 |
| 記載欄 |
| ○駐車場・駐輪場を設置する場合は、緑化の工夫により、道路や隣地からの見え方に配慮する。 |
| 記載欄 |

|  |
| --- |
| **<上記以外で特に景観に配慮した事項＞**記載欄 |